

## 令和5年度 第1回学校運営協議会（記録）

令和5年度の第1回学校運営協議会を令和5年6月14日（水）13時00分より、9名の委員の出席のもと開催しました。

令和5年度の今年度の学校運営協議会委員は、次の方々です。

- ・北條 俊介 様（本校 PTA 会長）
- ・佐藤 敏文 様（真駒内東町町内会 会長）※欠席
- ・山名 常二 様（澄川第九町内会 会長  
精進川美化・緑化の会 会長）
- ・菊地ひとみ 様（社会福祉法人札幌肢体不自由福祉会 施設長）
- ・戸倉 聡 様（医療法人仁友会日之出歯科真駒内診療所 会長）※欠席
- ・高橋 和明 様（札幌大学 教授）
- ・高木 美穂（本校 校長）
- ・近藤 正臣（本校 副校長）
- ・越田 淳（本校 教頭）
- ・黒沼 敬貴（本校 事務長）
- ・松橋 圭子（本校 教諭）

また、オブザーバーとして、川崎 真也 様（北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課社会教育指導係主査）が出席されました。

最初に、学校見学を行いました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、活動の制限が解除されてきたことにより、委員の皆様が児童生徒に声をかけたり、学習の様子を間近で見たりしながら、見学をすることができました。遠くから見て回った昨年度より、児童生徒の頑張りが委員の皆様により伝わったことと思います。

次に、校長が、令和5年度の学校経営方針の説明を行いました。（1）5類移行によって教育活動がほぼ全面に可能になったことに伴い、教職員が「共有・協働・改善」を行うことがより一層大切になること、（2）安全安心な教育活動の推進、家庭や地域と連携した取組の充実、学びのグラウンドデザインに基いたキャリア教育などの視点で12年間を見通した指導の3点について特に重点として取り組みたいこと、などの説明がありました。学校経営方針に対して、委員の皆さんの承認を得ることができました。



続いて、地域と共に進める取組・協働活動について、協議を行いました。副校長から、昨年度の学校運営協議会での協議の経過を踏まえ、「学校行事・授業」、「情報の発信・受信」、「授業以外の活動・イベント」、「人材」の4つの観点で、現状の取組についてのスケジュール案を中心とした説明がありました。説明の中では、昨年度末にユニバーサルカフェ minna さんで行われた、高等部の卒業生有志の作品展の様

子や、今年度4年振りに開催される予定の真駒内地区盆踊り大会への作品協力について、委員の皆様へ紹介しました。

その後、協議・意見交換が行われました。

協議・意見交換では、主に次の内容が話されました。

- 札幌大学の中の、地域とのつながりを担当する部署と連絡を取ることで、大学での作品展やアイスキャンデルのイベントなどのコラボが可能になるのでは？
- 地下鉄の自衛隊前駅で作品展ができそうでは？
- 札幌肢体不自由福祉会の地域を対象としたイベントで、コラボできそうでは？
- フラワースマイル作戦では、花を植えた後の管理についても、可能な範囲で学校も協力し、持続可能な活動にしていきたい。
- ある福祉事業所では、近所の公園での活動に近隣の理解が得にくいために困っている。可能であれば本校のグラウンドを開放してほしい。
- 近隣の町内会が行っているお祭りの会場となる公園が、今年度工事の関係で使用できず困っている。可能であれば本校の施設を借用させてほしい。
- すぐに答えは出ないと思うが、冬期間の災害時の一次避難所について地域と話し合っていくことが必要である。

次回の学校運営協議会は10月を予定していますが、その前に良いアイデアや情報があれば、随時連絡をいただくようお願いしています。

最後に、川崎主査から、令和5年度文部科学省委託事業「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」障害者の障害学習支援体制構築モデル事業についての説明をお聞きしました。障害をもった子どもたちの学びの場を、社会教育の観点から素地作りをしていきたい、そのために協力や発信を行っていきたいとのことでした。

(教頭 越田 淳)